

第六十七回  
帝國議會  
貴族院

# 臨時利得稅法案特別委員會會議事速記錄第四號

昭和十年三月二十日(水曜日)午前十時十五分開會

○委員長(子爵渡邊千冬君) 是ヨリ開會イ  
タシマス、森君

○森平兵衛君 大藏大臣ニ過般來五分利公債ノ低利借換ニ付キマシテ、甚ダ執拗ク御質問申上ゲマシテ恐縮ノ至リデアリマスルガ、過般ノ御答辯ニ依リマスレバ、償還期間ノ到來セルモノハ順次借換ヲシテ居ルト云フ御答デアリマシタノデアリマス、其後政府委員ニ對シテ其數字ヲ伺ヒマシタ所、昭和八年度ハ全クナカッタ、昭和九年度ニ於テハ九千餘萬圓ヲ所謂五分利ヲ償還シテ新シイ四分利ヲ發シタ、十年度ハ約二億一千四百萬圓バカリノ外ニ、政府補償ノ滿鐵ノ英貨債ガアルト云フコトデアリマス、私ハ高橋大藏大臣ノ低金利政策ヲ徹底セシムル爲ニハ、内國債ノ償還期限ノ參リマシタモノヲ順次矢張り四分利ニ御借換ニナツテ、尙ホ据置期間ノ規定ノナイモノ迄モ金融界ノ情勢ニ順應シテ大ナル衝動ヲ與ヘザル程度ニ於テ漸次四分利ニ御借換ニナルコトガ國庫ノ負擔ヲ輕減スルト云フ意味ニ於テモ必要ナコトデナイカト思フノデアリマス、尙

ホ此高利五分利公債ヲ一掃スルコトニ依ツテ、四分利公債ノ市價ヲ維持スルコトニモナリ、且ツ將來ニ向ツテ、所謂赤字公債ヲ御發行ニナルト云フコトニ付テモ、却テ御都合ハ好クハナイカトモ思フノデアリマス、今日ノ金融界ハ大藏大臣モ御承知ノ通り資金ガ充實シテ居ツテ、公債以外ニ他ニ良イ投資物ヲ認メナイヤウナ状態ニモ見ラレルノデアリマス、四分利公債ガ能ク消化シテ居リマスル現状ハ、即チ之ヲ物語ツテ居ルノデナイカト思フノデアリマスルノデ、成ルベク此機會ヲ逸セズシテ、大藏大臣ノ御決斷ヲ願フト云フコトガ非常ニ好都合デナイカト思ヒマス、斯ウ云フコトハ殆ド問題ニハナラヌノデアリマスルガ、本年ノ一月ニ社會大衆黨ノ大會デ、今後二年間ハ國債利息ノ支拂ヲ停止スル案ヲ議題ト致シマシテ、是ガ達成ヲ期スルト云フコトヲ決議シタノデアリマス、併シ斯ノ如キ極端ナル議論ト云フモノハ、固ヨリ耳ヲ假スル程ノモノデハアリマセヌガ、併シ社會ノ大局カラ見マシテ金融界ノ情勢ニ即シテ、低利ノ借換ヲ順次御斷行ナサツテ、公債利息ノ増加ノ趨勢ニ善處スルト云フコトヲ爲サルト云フコト

ガ、國庫負擔ノ上ニ於テモ非常ニ宜イコトト思ヒマスルノデ、幸ヒ數字ヲ私ガ知ルコトヲ得マシタノデ、尙ホ一應大藏大臣ノ御意見ヲ承ハル次第デアリマス

○國務大臣(高橋是清君) 公債政策ニ付テ

過日來御尋ガアリマシタガ、希望ト致シテハ今御述ニナツタ通りノ考ヘヲ私ハ有ツテ居ルノデアリマス、併ナガラ此經濟上……財政上ノコトト云フモノハ、餘リ先キノコトマデ當局者ガ意見ヲ公ニスルト云フコトハ、事柄ニ依ツテハ大イニ慎マナケレバナラヌ場合モアルノデアリマス、ソレデ豫テ申シマス通り、償還期限ノ到來シタモノニ付テハ、五分利公債ヲ低利ニ借換ヘルニハ、是ハ借換ヘルノデハナイ……一般ニ低利ノ四分利公債ニ依ツテ五分利公債ノ償還期限ノ到來シタモノヲ返ヘスダケノ資金ヲ調達シテ、而シテ五分利公債ヲ四分利ノ低利公債ニ借換ヘテ償還スル、斯ウ云フコトヲニ從ツテ實行スルダケノ確信ヲ懷イテ居リマス、是ダケハ申上ゲラレル、併ナガラ其上ニ尙ホ將來何處マデモ低金利ノ政策ヲ維持シマシテ、五分利公債ガ機會ガアル毎

ニ、償還期限ノ到來シナイモノデモ、苟モ据置年限ノ來タモノニ付テハ低利ニ借換ヘルノダト云フコトヲ私今日言明スルコトハ避ケタイト思ヒマス

○森平兵衛君 此以上御質問ヲ申上ゲルコ

トハ却テ金融界ニ或ハ衝動ヲ與ヘルカモ分リマセヌカラ、大藏大臣ノ只今ノ御説明ノ意味ヲ忖度イタシマシテ、公債政策ノ質問ハ此程度ニ止メマス、尙ホモウ一點御伺ヲ致シタイノデアリマスルガ、過日政府委員ニ、臨時利得稅制定ノ爲ニ地方財政ノ收入ニ影響スル數字ガドノ位デアアルカト云フコトヲ御尋ヲ致シマシタ所ガ、正確ナル數字ハ分ラヌガ、約三百萬圓グラキノ地方財政ニ減收ニナルカモ分ラヌ、斯ウ云フ御答辯デアリマシタ、御承知ノ通り道府縣、市町村等ノ財源ハ國家ノ會計ト共ニ年々膨脹シテ參リマシテ、殊ニ非常時局以來、農村對策ヲ中心トスル時局匡救トカ、或ハ失業救濟トカ云フヤウナモノノ爲ニ歳出ハ年々累加シテ居ルノデアリマス、其半面ニ又歳入ガ其均衡ヲ失シテ居ルノデアリマシテ、或ル地方ニ依リマスレバ其慘狀實ニ著シイモノガアルト云フコトヲ聞クノデアリマス、

既ニ小學校ノ教員ノ給料不拂ト云フヤウナ所ノモノモアルヤウニ聞クノデアリマス、尙且此臨時利得稅ノ制定ノ爲ニ僅カデアリマスルガ、此以上減收トナルト云フヤウナコトデアリマスルト、一層深刻ノ度ヲ増スヤウナ形ニナルト思フノデアリマスルガ、政府ハ之ニ對シテ何等カ他ニ地方ノ財源ニナルヤウナコトヲ御考ニナツテ居リマスルカ、モウ一點ハ先年田中内閣デアリマシタカ計畫セラレマシタ如ク、所謂國稅中ノ地租並ニ營業收益稅ナドモ、一般稅制整理ニ伴フテ地方ニ委讓シテ、地方ノ財政ノ缺陷ヲ補填スルト云フヤウナ御意思ハナイモノデアリマスカ、此二點ヲ御伺フ致シタイ

**○國務大臣(高橋是清君)** 此臨時利得稅ヲ行フガ爲ニ、地方デ特ニ之ガ爲ニ蒙ル減收ヲ補フト云フ方法ニ付テハ今日考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ又往年地租ヲ地方ニ委讓スルト云フコトモ、而モ私ガ主トシテ其當時ヤツタノデアリマスガ、サウ云フ一般ノ中央、地方ノ稅制ノ整理ノ點ニ付テ、サウ云フコトニ付テハ度々地方カラモ所謂……マダ出マセヌケレドモ、國策審議會ト云フヤウナモノニカカツテ、サウ云フ何方方法ヲ案出シテ其地方ノ負擔ノ重イモノヲ輕クシテ行クト云フヤウナコトハ、必要ナリト考ヘ

テ居ルト云フコトハ、首相モ確カ申サレテ居リマス、此問題ハ今ノ通り廣汎ニ互テ調査ラシ、一時ノ應急ノ手段デナク、稍、恆久的ノ性質ヲ帶ビテ對策ニシナケレバナラヌノデアリマスカラシテ、今日具體的ニ私ガドウ云フ考ヘラ持ツテ居ルカト云フコトヲ申述ベルコトハ却テ宜クナイト考ヘマス

**○森平兵衛君** 地方ナリ又市町村ノ公共團體ノ收入ガ頗ル現今デハ貧弱デアリマス爲ニ、或ル地方ニ依リマスレバ色ミナ稅目ヲ調査シテ、譬ヘテ申シマスルト、或ハ煽風機稅トカ、或ハ又金庫稅トカ云フヤウナモノヲ制定シテ居ルヤウナ地方モ隨分アルノデアリマス、斯ウ云フ煽風機稅トカ、金庫稅トカ云フモノガ宜イカ悪イカト云フコトハ別問題ト致シマシテ、サウ云フヤウナ極小サイ稅種ニマデ焦ツテ、地方ハ收入ノ途ヲ求メテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレデドウセ地方ニ於テ斯ノ如キ稅種ヲ定メマシテモ、監督官廳デアアル内務、大藏兩大臣ノ認可ヲ得ヌコトニハ是ハ徵收出來ヌコトデアリマスノデ、ドウカ將來一般的ト申シマスカ、家庭ノ必需品ト云フヤウナモノニマデ、僅カノ稅金ヲカケルト云フコトハ、私ハ大イニ是ハ考慮スベキコトデハナイカト思フノデアリマス、大藏大臣ハ斯ウ云フ

ヤウナ細カイコトハ、或ハ御承知ニナツテ居ラヌト思ヒマスルガ、他ノ政府委員カラデモ宜シイガ、矢張り地方ノ市町村ノ稅ヲ御許可ニナル上ニ於テ、斯ノ如キ煽風機ト云フヤウナモノハ、殆ド是ハ夏ニナツテ家庭ノ必需品ト申シテモ宜イノデアリマス、斯ウ云フヤウナ稅マデモ將來地方ノ財源ニ窮スレバ止ムヲ得ヌト云フコトデ御許ニナルノデアリマスカ、サウ云フ御方針ヲ承ルコトガ出來マスレバ幸デアリマス

**○國務大臣(高橋是清君)** 森君ノ今ノ御話誠ニ私モ御同感デアリマス、今日サウ申シテハ惡イケレドモ、御承知ノ通り、東京市ノヤウナ大都市ヲ初メ、地方ノ自治ト云フコトヲ發達サセムトシテ、段々彼等ガ樂ニナルコトハ、成ルベク中央カラ干涉セズニ、地方ノ自治體ヲシテ自ラ良イ方法ヲ立テルヤウニ希望シテ居ッタニ違ヒナイノデアリマス、ソレガ稍、習慣トナツテ先ツ地方ノ人ガ言ウタコトハ中央カラ餘リ干涉モセズ、言ヒナリ次第ニナツタト云フ憾ミガドウモアルヤウデアリマス、是ハ中央ノ所管ノ廳ニ於テ地方ニ對シテ餘リニ、先ヅ言ハバマア大目ニ見過ギタト云フヤウナコトモアツタラウト考ヘマス、是等ノコトモ矢張り今ノ政府ノ謂フ所ノ審議會、國策ノ審議會ト

云フモノハ、唯机上ノ上ノ理論ニ囚ハレズ、地方ノ實際ニ付テ指導シ、相談相手ニナル、尙ホ相談相手ニナル以上ハ是等ノ地方ノ、市町村等ノ狀況ニ依ツテ、現在ノ負擔ノ重イガ爲ニ改善スルコトモ出來ナイ、更生スルコトモ是デヤ出來ナイト云フ場合ニハ其宜シク重荷ヲ輕クシテ何處マデモ更生ノ途ニ邁進スルコトノ出來ルマデニ立上ラサセルマデニ世話ヲ燒カウト云フヤウナ深イ考ヘラ有ツテ居ルコトデアリマスルカラ、サウ云フ必要ヲ感ジタノハ今御話ノ通りニ地方ノ課稅ノ方法ト云フモノガ如何ニモドウモ課稅スベカラザルモノニマデ課稅シ、或ハ又課稅シテモ事實ニ副ハナイ課稅方法ヲ立テテ、唯外見上カラアレニハ是位ノ負擔ヲサセタラ宜カラウト云フヤウナ割合ヲ當テタリシテ、自然比較的富裕ノ人達ハ地方内ニ自分達ガ其籍ヲ持ツテ居ルト云フト、皆何デモ自分達ノ所ニ寄り掛カテ來ルト云フヤウナコトモ地方ニ往々アルガ爲ニ、地方カラシテサウ云フ迷惑ヲ蒙ル人ハ都會ニ移住スルト云フヤウナコトデ、段々實際サウ云フ狀況ガ現ハレテ居ルト云フコトモ私ハ承知ラシテ居リマス、是等ヲ矯正スル、免ニ角郷土ヲ愛スルト云フ念ト云フモノハ是ハ人トシテ必ズアルモノデアアルソレヲ自分ノ生レ

タ故郷ヲ去ツテ、他ニ行クト云フヤウナコトハ能クノコトデアアル、今御話ノ通り現在ハサウ云フコトデアリマスルカラシテ、將來ハ先ヅ中央ノ所管ノ省デモ十分ニ注意ヲシナケレバナラヌソレニハ先ヅ第一地方ノ自治體ヲ構成シテ居ル人達ノ精神カラシテ是ハ作興サシテ行カナケレバナラヌ、餘程ノ努力ヲ要スルコトデアラウト考ヘテ居リマス、併シ大體ノ御趣意ニ付テハ私ハ御同感デアリマス

○森平兵衛君 只今大藏大臣ノ御親切ナル御答辯ニ依リマシテ、將來ノ改善ヲ期待イタシマシテ、私ノ質問ハ是デ止メマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 大體質問モ終了シタコトト存ジマス、此際昨日小委員會ヲ開クコトニ議決ニナツタノデアリマスガ、其小委員會ノ結果ヲ小委員中ノドナタカラカ御報告ヲ願ヒタイト思ヒマス

○菅原通敬君 馬場君ニ一ツ御願ヲ致シマス

○馬場鐵一君 ソレデハ便宜上私ヨリ昨日ノ小委員會ニ於キマシテ決定イタシマシタ結果ヲ御報告申上ゲマス、只今御手許ニ簡單ナ印刷ニ付シタモノヲ配付ニ相成ッテ居ルト存ジマスルガ、衆議院ヨリ送付セラレタ案ニ對シマシテ、更ニ數箇所ノ修正ヲ加

ヘタ譯デアリマス、即チ第四條ト第六條及ビ第九條ニ修正ヲ加ヘタノデアリマス、順次申上ゲマスガ、第四條ノ第一項ニ「法人ノ現事業年度ノ利益ガ既往事業年度ノ平均利益ヲ超過スル場合ニ於テ其ノ超過額中年二千圓ヲ控除シタル金額ヲ以テ法人ノ利得金額トス」トアリマス中ノ「中二千圓ヲ控除シタル金額」是ダケノ文字ヲ削ルノデアリマス、即チ法人ノ利得金額ヲ計算シマスル際ニ、原案ニハ二千圓ヲ控除スルコトニナツテ居リマスノヲ、控除セザルコトニ致シタノデアリマス、其理由ハ後ニ申上ゲマス、ソレカラ第三項ニ衆議院ニ於テ増資ヲシタ場合ニ於テ、其増資ガ「臨時利得稅通脫ノ目的ニ出デタモノト認メラルル時ハ」云々ト云フ規定ヲ置カレタノデアリマスルガ、是ハ全文ヲ削除スルコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ次ハ同ジク第四條ノ末頃ノ「三年内」トアリマスノヲ「二年内」ト云フコトニ修正シタノデアリマス、ソレカラ次ハ第六條ニ付キマシテ、第六條ノ末頃は衆議院ニ於テ減資ノ場合ノ規定ヲ致シタノデアリマスガ、其減資ノ場合ノ規定ヲ更ニ意味ヲ明ニシテ、適用ニ不都合ノナイヤウニ改メタノガ此方ノ修正デアリマス、即チ衆議院案ノ中ノ字句ヲソレノ改メタノデアリ

マスガ、結局本文ヲ讀上ゲマスト、「昭和七年一月一日以後本法施行ニ至ル迄ノ期間ニ於テ拂込株式金額又ハ出資金額ヲ減少シタル法人ノ現事業年度ノ資本金額ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ減少ナカリシモノト看做シテ之ヲ計算ス」斯ウ云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ次ハ第九條第一項ト第四項ノ中ニ「前三年」トアリマスノヲ「前二年」ト云フコトニ改メタノデアリマス、其他ノ衆議院ノ修正ハ其儘之ヲ認メマシテ、何等改メテハ居ラヌノデアリマス、是ガ修正ノ昨日ノ小委員會ノ決定デアリマス、其修正ヲ加ヘマシタ大體ノ趣旨ヲ申上ゲマス、先ヅ基準年度ヲ衆議院ニ於テハ昭和四年ヲ加ヘテ三年ニ致シタノデアリマスルガ、是ハ理論的ニ考ヘマシテモ、寧ろ政府ノ五年、六年、即チ二年ニ致シテ居ル方ガ宜シト認メタノデアリマス、ノミナラズ之ニ依ッテ百十七萬圓ノ歳入ノ減收ヲ生ズルノデアリマスガ、理論的ニ申シテモ亦歳入ノ減少ヲ來サザル意味ニ於テ、政府原案ノ如ク修正イタスノヲ可ト致シタノデアリマス、第二點ノ主要ナル點トシテ衆議院ニ於テハ法人ノ利得ト個人ノ利得トノ稅率ヲ變ヘマシテ、法人ハ百分ノ十、個人ハ百分ノ七・五ト致シマシタノヲ是認イタシマシタ結果、歳入ニ

約百三十五萬圓ノ減少ヲ來スノデアリマシタガ、之ヲ此儘ニ認メル譯ニハ參ラスノゾ、是ガ歳入減少ノ補填ト致シマシテ、且亦理論的ニ考ヘマシテモ、敢テ法人ノ利得ヲ計算シマスルノニ二千圓ヲ控除スルノ必要モナカラウ、斯ウ云フ考ニ依リマシテ二千圓ヲ控除スルト云フコトヲ止メタノデアリマス、之ニ依ッテ財源ノ上ニ於テハ百五十萬圓程ノ増收ニナルノデアリマスルガ、第六條ノ衆議院ノ末項ヲ加ヘタ、即チ更ニソレヲ修正シマシタ減資規定ノ結果トシテ、約十五萬圓程ノ減收ヨリ十五萬圓ヲ減ジマシテ、約百三十五萬圓内外ノ收入ト相成ル譯デアリマシテ、之ニ依ッテ法人、個人ノ稅率ノ差等ニ依ル減收ヲ補填シ得ル譯デアリマス、而シテ法人ノ利得ヲ計算スルニ二千圓ヲ控除スルコトヲ止メマス結果、課稅法人ノ數ガ相當ニ増スノデアリマス、即チ二千圓ヲ控除シタ課稅ヲ致シマスルト、五千五百圓程ノ法人ニ課稅スルコトニナリ、二千圓ノ控除ヲ致シマセヌ結果ハ一萬五千程ノ法人ガ課稅サルル譯ニハナリマスルケレドモ、全法人ノ二萬一千バカリノ法人ニ依ッテ百五十萬圓ノ稅額ヲ負擔スルヤウナ譯デアリマスルカラ、一法人僅ニ七十圓乃至七

約百三十五萬圓ノ減少ヲ來スノデアリマシタガ、之ヲ此儘ニ認メル譯ニハ參ラスノゾ、是ガ歳入減少ノ補填ト致シマシテ、且亦理論的ニ考ヘマシテモ、敢テ法人ノ利得ヲ計算シマスルノニ二千圓ヲ控除スルノ必要モナカラウ、斯ウ云フ考ニ依リマシテ二千圓ヲ控除スルト云フコトヲ止メタノデアリマス、之ニ依ッテ財源ノ上ニ於テハ百五十萬圓程ノ増收ニナルノデアリマスルガ、第六條ノ衆議院ノ末項ヲ加ヘタ、即チ更ニソレヲ修正シマシタ減資規定ノ結果トシテ、約十五萬圓程ノ減收ヨリ十五萬圓ヲ減ジマシテ、約百三十五萬圓内外ノ收入ト相成ル譯デアリマシテ、之ニ依ッテ法人、個人ノ稅率ノ差等ニ依ル減收ヲ補填シ得ル譯デアリマス、而シテ法人ノ利得ヲ計算スルニ二千圓ヲ控除スルコトヲ止メマス結果、課稅法人ノ數ガ相當ニ増スノデアリマス、即チ二千圓ヲ控除シタ課稅ヲ致シマスルト、五千五百圓程ノ法人ニ課稅スルコトニナリ、二千圓ノ控除ヲ致シマセヌ結果ハ一萬五千程ノ法人ガ課稅サルル譯ニハナリマスルケレドモ、全法人ノ二萬一千バカリノ法人ニ依ッテ百五十萬圓ノ稅額ヲ負擔スルヤウナ譯デアリマスルカラ、一法人僅ニ七十圓乃至七

十五圓位ナ負擔ニシカナラヌノデアリマス  
カラ、假リニ法人ノ數ガ殖エマシテモ、而  
モ其殖エマスル法人必ズシモ小法人ノミニ  
限ラナイ、相當大ナル法人モ無論含マレテ  
居ルノデアリマスルカラ、敢テ之ニ依ッテ著  
シキ負擔ノ苛重ト云フヤウナコトニモナラ  
ヌト思ヒマスノデ、寧ロ個人ノ利得稅ノ稅  
率ヲ法人ト差別スルコトニ於テハ合理的ノ

理由モアルヤウデアリマスルカラ、ソレヲ  
認メテ、此方ニ於テ其減收ヲ補填スルコト  
ガ適當ダラウト考ヘマシテ、斯ク修正シタ  
次第デアリマス、而シテ増資ノ場合ニ付テ  
ノ衆議院ノ修正案ハ、政府ノ認定ニ委セル  
ヤウニナッテ居リマスルガ、是ハ其認定ニ困  
難ナルノミナラズ、或ハ延イテ官民ノ間ノ  
争モ是ガ爲ニ生ジ、面白クナイ結果デア  
ルノミナラズ、態、遁脱ノ爲ニスノ如キ増資  
ヲスルト云フコトモ、餘リ行ハルルモノトモ  
思ハレナイノデアリマスルカラ、此方ノ修  
正ハ衆議院ノ修正案ヲ之ヲ削除スルコトガ  
適當ナリト考ヘタノデアリマス、減資ノ場  
合ハ誠ニ合理的ト考ヘラレマスルガ、衆議  
院ノ修正文面ガ不適當デアリマスルノデ、  
ソレヲ修正シタ譯デアリマス、尙ホ此施行  
年限ノ問題デアリマスルガ、是ハ衆議院ノ  
修正ニモ理由ガアルモノト思ヒマスルノ

デ、敢テ之ヲ修正致サズ、衆議院案ノ通り  
ニ致シテ置イタノデアリマス、大要小委員  
會ノ決定ノ次第ヲ御報告申上ゲタ次第デア  
リマス

○森平兵衛君 質問致シマシテ宜シウゴザ  
イマスカ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 宜シウゴザイ  
マス

○森平兵衛君 只今小委員會ノ御修正ニナ  
リマシタ第四條中ノ第一項、所謂法人ノ此  
二千圓ヲ控除スル金額ノ爲ニ、課稅ヲ受ケ  
ル法人ノ數ガ五千餘リ殖エル、斯ウ云フコ  
トデアリマスガ、政府ニ於テ此二千圓ヲ控  
除ナスツク趣旨ハドウ云フ點ニアリマスカ、  
政府委員ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(石渡莊太郎君) 法人ノ利得金  
額ヨリ二千圓ヲ控除致シマスル理由ハ、法  
人ノ利得ニ付キマシテ僅カバカリノ利得ガ  
アツク場合ニ、之ニ課稅スルト云フコトヨリ  
ハ、ソコニ矢張り一定額ノ開キヲ置イテ、  
之ヲ利得金額ト看做シタ方ガ、稅ノ實際上  
妥當デアラウ、斯ウ考ヘマシテ二千圓ヲ控  
除致ス規定ヲ置キマシタ次第デゴザイマ  
ス

平均シテ二千圓ヲ控除スルト云フノハ、マ  
アツハ法人ニ對スル免稅點、斯ウ云フ工  
合ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(石渡莊太郎君) 免稅點……詰  
リ普通ニ申シマスル免稅點トハ多少異ナル  
カモ分リマセヌガ、利得金額、利得金額ト云  
フノハ二千圓ト云フ一ツノ緩和地帯ヲ置イ  
テ、其上ノ金額ハ課稅ヲ受ケルト、斯ウ御  
承知ヲ願ッテ宜イカト思フノデアリマス、或  
ル一定額ヲ控除シタ其殘額ガ利得稅ノ課稅  
主體ニ相成ル、斯ウ云フコトダト思フノデ  
ゴザイマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 外ニ質問ハゴ  
ザイマセヌカ

○滋澤金藏君 只今馬場委員ヨリ小委員會  
ノ案ニ付キマシテ御説明ニナリマシテ、  
能ク分ツタノデゴザイマスガ、唯一點チヨッ  
ト疑問ヲ起シタノデアリマスカラ、御質問  
申上ゲルノデアリマス、第六條ノ末項、  
第四項デアリマスガ、修正ノ御趣旨ハ能  
ク分リマスノデアリマスガ、唯此減資ノ  
場合ニ於キマシテハ、是ハ事實ハ其通り行  
クマイト考ヘルノデゴザイマス、御説ノ通  
リ減資ニモ色ミアリマシテ、從來アリマシ  
タ缺損金ヲ切捨テル爲ニ資本金ヲ減少スル  
ト云フ、詰リ無償減資デアリマスガ、斯ウ

云フ場合ニハ此案ハ非常ニ結構デアルト思  
フノデアリマス、又減資ヲスル場合ニハ多  
クハ斯ウ云フ場合ガ多イノデアリマスル  
ガ、唯減資ノ中ニモ有償減資ト申シマスカ、  
株券ヲ減ラス爲ニ株主ニ額面ノ金額ヲ交付  
致シマス、或ハ額面以上ノ金額ヲ株式ヲ買  
入レテ株數ヲ減ラスト云フコトモアルノデ  
アリマス、所謂買入減資、ソレカラ又新設  
合併ヲ行フ際ニ合併會社ノ株主間ノ探算上  
ノ利害ヲ調節スル爲ニ、利益率ガ低イカ若  
クハ積立金ノ少イ方ノ會社ノ株主ニハ、新  
株ノ數ヲ少ク交付スル、俗ニ謂フ壓縮減資  
デアリマスガ、サウシテ結局總資本額ニ於  
テハ減少スル、斯ウ云フ場合ハ必シモ減資  
後ノ資本金額ニ依ラナクテモ宜イノデア  
ル、ソコデ私ハ此修正案ニ反對スルモノデ  
アリマセヌカラ敢テ此條文ヲ直シテ載キタ  
イトハ申シマセヌガ、此規定ノ中ニ「命令ノ  
定ムル所ニ依リ」ト、斯ウ云フ文句ガアリ  
マスルガ、斯ウ云フヤウナ趣旨ヲ、此減資  
ヲ定ムル命令ノ中ニ政府ハ御入レニナッテ、  
サウ云フモノハ認メナイト云フヤウナ、強  
テ言ヘバ除外令ト申シマセウカ、サウ云フ  
ヤウナコトヲ命令ノ中ニ御書キニナル御意  
思ガゴザイマセウカ、ドウデゴザイマセウ  
カ

○森平兵衛君 法人デハ、サウスルト假リ  
ニ一千萬圓ノ資本デモ五萬圓ノ資本デモ、

○森平兵衛君 法人デハ、サウスルト假リ  
ニ一千萬圓ノ資本デモ五萬圓ノ資本デモ、

○馬場鐵一君 只今御話ノ如ク減資ノ場合

ニハ色ミノ場合ガアラウト思ヒマスガ、茲ニ於テカ「命令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ文句ヲ入レマシテ、所謂合理的ト見ラルルヤウナ場合以外ノモノハ除外シタイ考ナノデアリマス、詰リ資本減少ト云フコトノ此規定ヲ正シク適用セラルルコトノ外、不合理ナリト認ムルヤウナ場合ニハ寧ロ命令デソレレノ制限ヲシテ貫ヒタイト、斯ウ云フ意味ヲ含メテ居リマス爲ニ「命令ノ定ムル所ニ依リ」ト、斯ウ云フ委任規定ヲ置イタノデアリマシテ、御趣旨ニ副フダラウト思ヒマス

○遊澤金藏君 只今ノ馬場委員ノ御説明デ、甚ダ諄イヤウデゴザイマスガ、政府ハ之ニ御同意ヲナサルノデゴザイマスカ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 他ニ御質問ガアリマスカ、御質問ノ方ヲ先キニ願ヒタイト思ヒマス、一括シテ政府ガ同意サレルカドウカ聽イテ見タイト思ヒマスカラ……

○遊澤金藏君 ソレデハ私ノ質問ハ是デ終リマス

○西野元君 若シ皆様別ニ御質問ゴザイマセヌケレバ、私ハ只今馬場君ヨリ御報告ニナリマシタヤウナ修正ニ對シテノ意見ヲ決定スルニ先ダチマシテ、其根據ヲ確實ニス

ル爲ニ二三政府ノ御意嚮ヲ承ッテ置キタイト存ズルコトガアルノデアリマス、實ハ速記ヲ止メテ載キマシテ、懇談的ニ二三御話申上ゲタイト思ヒマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 速記中止  
午前十時五十分速記中止  
午前十一時十二分速記開始

○委員長(子爵渡邊千冬君) 外ニ御質問ガナケレバ討論ニ入りマス前ニ、此小委員ノ修正案ニ對シテ、政府ガドウ云フ御意見デアリマスカ、贊成デアリマスカ、反對デアリマスカヲ、此際承ッテ見タイト思フノデアリマス

○國務大臣(高橋是清君) 臨時利得稅法案ニ對スル小委員會ノ御修正ニ付キマシテハ、政府トシテハ先ヅ本稅ノ收入ニ於テモ、又此修正ノ條項ニ付キマシテモ、其實行上ニ於テハ支障ナイモノト考ヘマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 政府ハ此小委員會ノ修正案ニ同意セラレタモノト認メマス、是ヨリ討論採決ニ入りタイト思フノデアリマスガ、先ヅ付託セラレテ居リマスニツノ法案ノ中、臨時利得稅法ノミニ付テ、別段御議論ガナケレバ直チニ採決ヲ致シタイト思ヒマスガ、別段……

○菅原通敬君 チョット意見ヲ述ベサシテ

戴キタイ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 菅原君

○菅原通敬君 私ハ本案ニ贊成スルモノデアリマス、簡單ニ其理由ヲ申述ベヤウト思フノデアリマスガ、此臨時利得稅ナルモノニ付テハ、大分世論ノ紛々タルモノガアルノデアリマシテ、中ニハ政府ノ曾テナシタル聲明ニ反スルモノデアルト云フヤウナ非難ナドヲ加ヘルモノモアルノデアリマス、而シテ此案ノ趣旨目的ト云フモノニ付テ、或ハ是ハ負擔公平ノ爲デアルトカ、收入増加ノ爲デアルトカ、或ハ健全財政ノ爲デアルトカ、公債漸減ノ爲デアルトカ、或ハ又社會政策ノ爲デアルトカ、思想緩和ノ爲デアルトカ、ト云フヤウナ色ミノ測リ方モアルノデアリマシテ、其趣旨目的ガ徹底シテ居ラスト云フヤウナ批評ノアリマスコトモ、已ムヲ得ヌコトデアラウト思フノデアリマス、殊ニ私ノ感ジマスノハ……茲ニ高橋大藏大臣ノ前デ申上ゲルコトハ、甚ダ衷心ニハ忍ビナイコトデアリマスケレドモ、曾テハ一部ノ増稅論ニ反對サレマシテ、此時局ニ際シテ大イニ儲ケタ者ガアルト云ウテ、ソレニ對シテ増稅ヲスルト云フヤウナコトハ共產主義ニ導クモノデアルトマデ極論セラレタコトヤ、或ハ五千萬ヤ一億萬ノ増稅

フシタ所ガ、今ノ財政カラ見テ燒石ニ水ノヤウナモノデアルトマデ論ゼラレマシテ、反對サレテ居ッタ其事ニ願ミテ見マスト云フト……今ハ無論時世モ變ッテ居リマスルシ、マア御心境ノ變化モ起ラレタコトモアラウト思ヒマスルガ、兔毛角モ願ミテ見マスト云フト、大イニ今昔ノ感ニ堪ヘナイノデアリマス、或人ハ此戰時利得稅ハ所謂健全財政ト云フモノト赤字公債トノ混血兒デアルト批評シタ者モアリマスガ、甚ダ穿チ得ク言葉ノヤウニ思ハレルノデアリマス、又或人ハ斯様ナ稅ハ産業ノ發達ヲ阻止スルモノデアアル、從ッテ是ハ早キニ過グル、所謂尙早デアルト云フヤウナコトニモ論ジテ居ル者モアルノデアリマスガ、私ハ寧ロ時期ハ遅レテ居ル、サリナガラ遅レタリト雖モ所謂爲サザルニ優ルモノデアアル、又或ハ不徹底デアルトカ、混血兒デアルトカ云フヤウナモノデアリマシテモ、無キニ優ルコトハ萬々デアリマスガ、私ハ大體ノ財政計畫ノ上ニ於テハ、多少意見ヲ持ッテ居ルノデアリマスケレドモ、又此案ノ内容ニ付テハ、尙ホ不満足ノ點モ存スルノデアリマスケレドモ、所謂健全財政、公債漸減ト云フ上ニ一歩ヲ進メテ參ルト云フコトノ上ニ貢獻スルモノデアラウト思フノデアリマス故ニ、小

委員ノ修正サレマシタ其案ニ付テ賛成イタシマシテ、本案ノ成立ヲ希フモノデゴザイマス、是ダケ申上ゲテ置キマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 外ニ……

○伯爵酒井忠正君 此本案ニ付キマシテハ小委員會ニ於キマシテモ審議ヲ重ネラレマシテ、且修正案ニ付キマシテモ深く研究ノ上出來上ツタモノト思ヒマスノデ、此小委員會修正案ニ對シテ賛成ヲ致シマス

○松本眞平君 先刻、少シ是ハ政府委員ニ對スル質問ト、若クハ希望ト云フヤウナ意味ニナリマスガ、西野サンノ御話ニ關聯シテ、政府委員ニモウ一應確メテ置キタイト思ヒマスガ……

○委員長(子爵渡邊千冬君) 松本君ニ申上ゲマスガ、質問ハ濟ミマシテ、今ハ討論デゴザイマスガ……

○松本眞平君 討論デスガ、討論ガ左様ナ意味ニナルノデス

○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレナラバドウゾ……

○松本眞平君 先刻ノ期限ノ問題デアリマスケレドモ、三年……法人ガ、十二年十二月三十一日ヲ以テ事業年度ト云フモノガ、此儘デアリマスト云フト、或ルモノハ三年、或ルモノハ四年ト云フコトニナリマスト云

フト、無論不公平ト云フヤウナ意味ニモナリマスルシ、豫算ノ上ニモ相違モ來シテ參ラウト思ヒマスル、是ハ何トカ其ノ、三箇年ト云フ意味合ニ適當ナ字句ナリヲ挿入ヲシテ、方法ハ付カヌモノデアリマセウカドウカ、其點ヲ一ツ此機會ニモウ一度政府委員カラ承リタイデスガ……

○委員長(子爵渡邊千冬君) ドウデセウカ、サウ云フ御質問ハ先キ政府委員ガ答辯シテ居ラレタヤウデスカラ、必シモドウモドノ法人モ同ジヤウニ行カナクテモ已ムヲ得ナイト云フコトヲ答辯シテ居ラレルヤウニ思ヒマスガ、此際御意見ヲ御述べテ願ヒタイト思ヒマス

○森平兵衛君 私ハ自分ノ希望ヲ述ベテ本案ニ賛成イタシタイト思フ者デアリマス、本稅ニ關シマシテハ色ミ質問モ議論モアツタノデアリマスルガ、國民ハ幾ラカノ懸念ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレハドウ云フコトデアリカト云ヘバ、一ツハ戰時利得稅ノ如ク豫想以上ノ重課トナリハシナイカト云フ點デアリマス、臨時ト云フ名稱デアッテ、マア今日デハ幸ニ三年ト云フ期限ガ附イタノデアリマスガ、永久稅ニナリハシナイカト云フコトノ懸念、モウ一ツハ戰時利得稅ハ豫想以上ニ非常ナ重課ニナツテ居ル

ト云フコトガ第二點、第三點ハ社會政策ニ對スル議論ガ出テ參ッテ、中ニハ机上ノ理論家ガ、此時局ニ惠マレテ多ク儲ケタ者ニハ稅ヲ課シテ宜イヂヤナイカト云フヤウナ極ク單簡ナ點カラ出發シテ、臨時利得ト云フヤウナモノニハ相當重課ヲ掛ケル方宜イト云フヤウナコトデ、此三千萬圓ノ臨時利得稅ガ出來タト云フコトデ、蓋ヲ明ケテ見ルト一億圓ニモ上ルト云フコトニナルカモ知レヌト云フコトガ、第三ノ懸念デアリマス、且ツ此臨時利得稅ハ或ル方面ノ議論カラ申シマスレバ、不均衡ナ、或ハ公正ヲ缺クヤウナ稅制デアルト云フ風ニモ見ラレテ居ルノデアリマシテ、從ツテ此稅ガ幾ラカ財界ニ衝動ヲ與ヘルコトモアルト云フコトモ不安ノ一ツノ原因ニナツテ居ルノデアリマス、私ハ斯ウ云フ點カラ見マシテ、政府ハ今後ノ稅制整理ノ大方針ヲ御立テニナルニ當リマシテ、成ルベク財界ノ不安ヲ一掃シテ人心ノ安定ヲ圖ラレルコトガ非常ノ急務デアルト思ヒマスノデ、斯ウ云フ確立シタル財政策ヲ御立テニナルコトヲ希望イタシマシテ、此修正案ニ賛成ヲ致シマス

○松本眞平君 此期限ノ問題ハ先刻來ノヤウニドウモ甚ダ不公平デアルト云フヤウニモ考ヘラレマスルシ、先刻政府委員ノ御說ニ依リマスルト云フト、大體此一年ヲ前期後期ト云フヤウナ風ニ分ケテノミ事業年度ト考ヘラレテ居リマスヤウデアリマスガ、是ハマア問題モナク一箇年ヲ以テ事業年度ト致スト云フヤウナ法人モ澤山アリマスノデ、左様ナ場合ニナリマスト云フト、期限ノ、十一月トカ何トカ云フ期限ニナリマスト、全ク一箇年ノ相違ヲ來スト云フコトニナリマスカラ、何トカ之ヲ立法イタシマス場合ニ於テ、是非法人ニ於テモ三箇年ノ此適用ヲ受クルコトヲ以テ止メルコトノ出來マシヤウニ、適當ナル立法ヲ致シマスヤウナ希望ヲ以テ、此本案ニ賛成ヲ致シマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 外ニ御意見ガゴザイマセヌケレバ採決ヲ致シタイト思ヒマスガ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ臨時  
利得稅法案ニ付テ採決イタシマス、小委員  
ノ修正通りニ可決イタスコトニ御異議ガゴ  
ザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 全會一致左様  
ニ可決イタシマシク、次ハ日本銀行納付金  
法中改正法律案ヲ議題ト致シマスガ、是ハ  
政府原案通り御異議ガゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 是モ全會一致  
可決イタシマシク、此委員會ハ之ヲ以テ終  
了イタシマス

午前十一時二十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵渡邊 千冬君

副委員長 男爵深尾隆太郎君

委員

侯爵中御門經恭君

侯爵佐佐木行忠君

伯爵酒井 忠正君

子爵西尾 忠方君

子爵裏松 友光君

桑山 鐵男君

男爵松平外與磨君

倉知 鐵吉君

菅原 通敬君

西野 元君

馬場 鉄一君

森 平兵衛君

松本 眞平君

野村 徳七君

澁澤 金藏君

大藏大臣 高橋 是清君

國務大臣

政府委員

内務省地方局長 岡田 周造君

大藏省主計局長 賀屋 興宣君

大藏省主稅局長 石渡莊太郎君

大藏書記官 大矢半次郎君

同 松隈 秀雄君

昭和十年三月二十日印刷

昭和十年三月二十一日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局